

**（大阪府泉佐野市）
地産地消の再生可能エネルギー
「木質バイオマス発電プロジェクト」**

泉佐野市成長戦略室おもてなし課

泉佐野市の紹介

大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、背後に一部が金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。商・工・農・漁業がそれぞれバランスよく栄えてきましたが、関西国際空港の開港などに伴う人口の増加とともに、商業・サービス業が盛んとなっています。

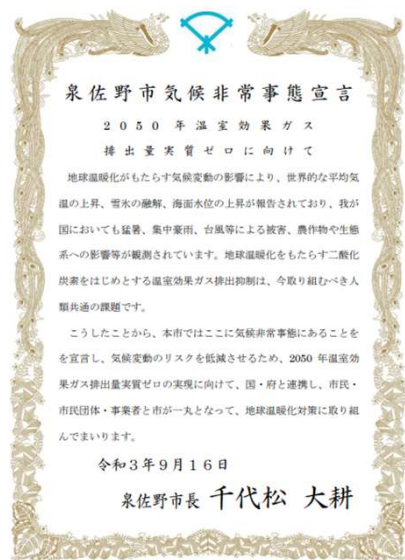


■ 面積・人口等

面 積	56.51平方キロメートル
人 口	100,131人（令和2年国勢調査）
世 帯 数	43,864世帯
特 産 品	泉州タオル（全国シェア42%）、ワタリガニ、玉ねぎ、水なす、キャベツ、地酒等
主要産業	金属製品・一般機械・輸送機械製造業、観光業、繊維・衣服製造業、農林水産業

事業の背景①

- 近年、地球温暖化が起因とみられる気候変動により、大型台風や集中豪雨などの異常気象が頻発し、多くの災害をもたらしています。特に大阪府内では全国平均と比べて地球温暖化による気温の上昇幅が大きく、台風による被害が拡大しています。
- こうした事態を受けて、泉佐野市は、2050年温室効果ガスの実質排出量ゼロ（ゼロカーボンシティ）をめざすことを宣言しました。



泉佐野市気候非常事態宣言



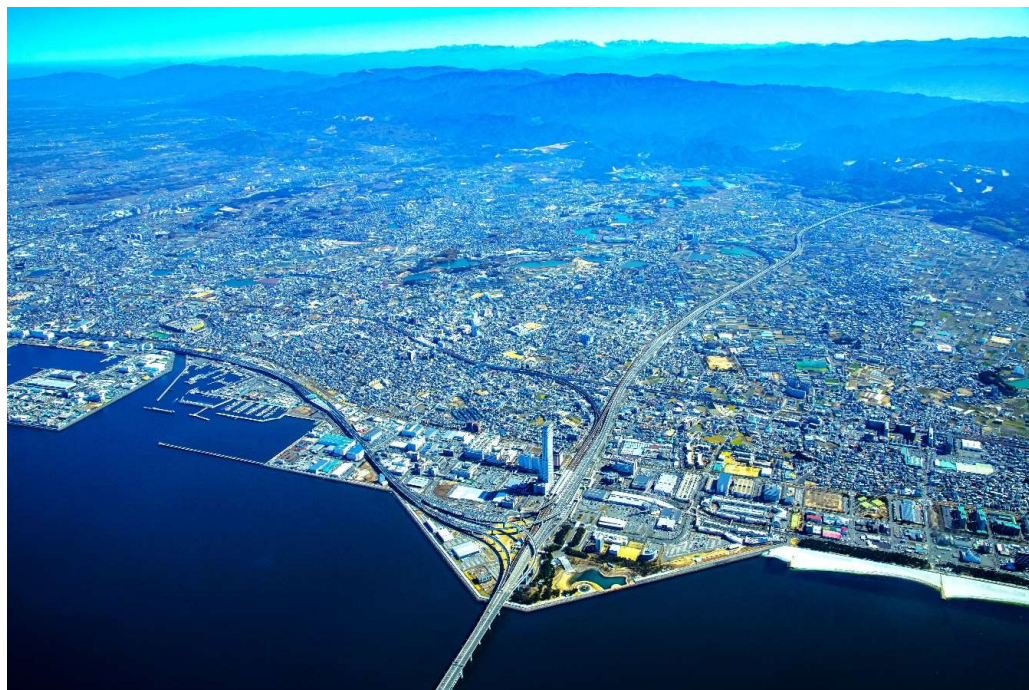
環境大臣からのメッセージ



泉佐野市にも大きな被害をもたらした台風21号（2018年9月）

事業の背景②

- ・ 泉佐野市には、森林整備で間伐された木材のうち、未利用のまま山林に残置されている間伐材等が年間100トン以上発生しています。この未利用木材の有効活用が求められています。



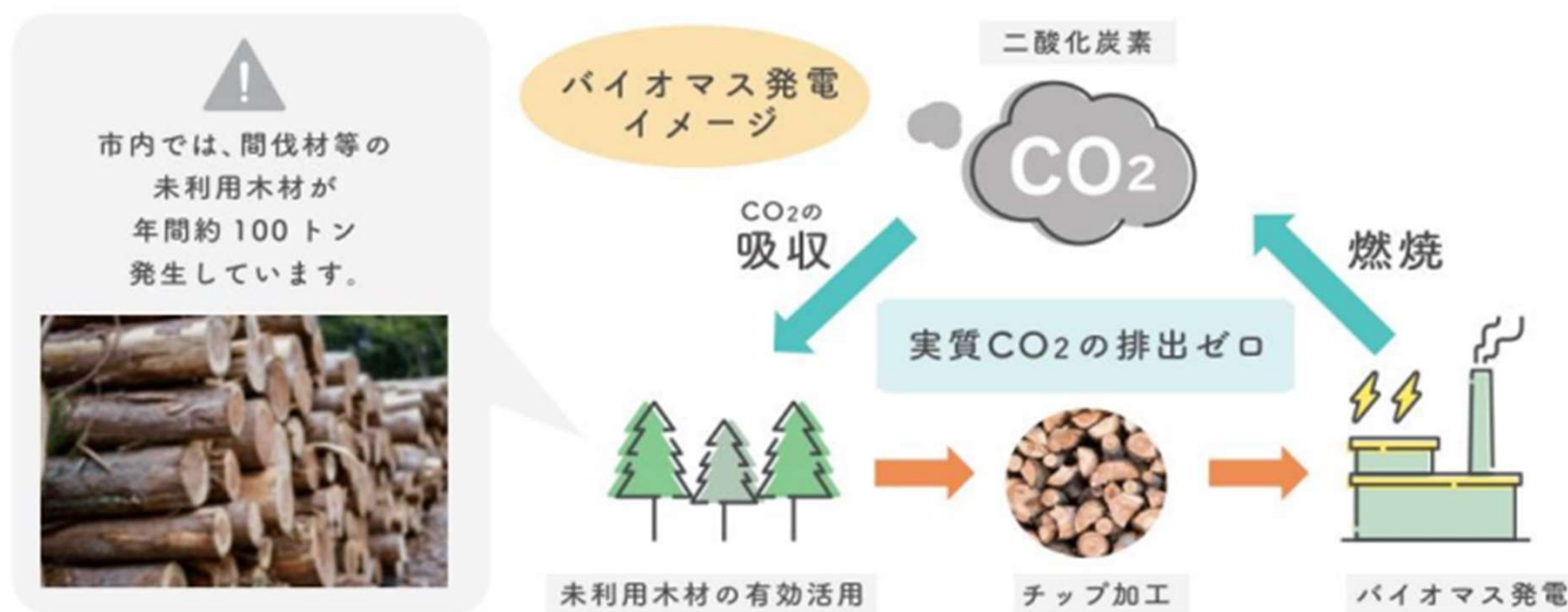
泉佐野市上空写真



泉佐野市（山間部）

事業内容

- 来年度(2025年)に、泉佐野市内にて「木質バイオマス発電所」を開設し、市内の民有林から得られる間伐材(約100トン)を活用することで、年間約57,000kwh(約20トンのCO2削減)の発電をめざします。
- 木質バイオマス発電は、大気中の二酸化炭素(CO2)濃度の上昇を抑制するものとして注目されている再生可能エネルギーであり、森林整備で間伐された木材のうち、未利用のまま山林に残置されている間伐材等(年間 100トン以上)を、地産地消の再生可能エネルギーとして有効活用することで、カーボンニュートラルの実現と未利用木材の利用を促進します。



(仮称) 泉佐野市木質バイオマス発電所 概要

名称	泉佐野市木質バイオマス発電所
発電出力	40kw
年間発電量	約57,000kwh/年
運転開始(予定)	2025年2月
燃料	間伐材(木質チップ)
燃料使用量	約100t/年
脱炭素効果	約20t-CO ₂ /年



導入予定の木質バイオマス発電施設

出典: Volter JAPAN

企業版ふるさと納税の活用について

- ・ 本プロジェクトは、カーボンニュートラルの実現や循環型社会の実現のために重要な事業ですが、資材費の高騰などにより、総事業費は約2億8千万円と高額であり、財源面で厳しい状況にあります。
- ・ また、本プロジェクトを推進するためには、企業や地域の皆さまの知見やアドバイスが不可欠であります。企業版ふるさと納税を通じた官民連携により効果的な事業を推進していきたいと考えています。



企業様のベネフィット

ベネフィット例

- 感謝状の贈呈
- 市公式HPへ企業情報を掲載
- 市から報道機関へプレスリリース
- 発電所に銘板を設置し、企業名を掲載(予定)
- 感謝状贈呈式の開催 / 市長との意見交換
- 紺綬褒章に推薦
- 泉佐野市ふるさと功労者表彰に推薦
- 市広報誌に企業名等を掲載

※ベネフィット内容は予告なく、変更となる可能性がございます。

企業様へのメッセージ

泉佐野市では、企業版ふるさと納税を活用した社会課題の解決や地方創生の推進をめざし、本プロジェクトの他、子どもの貧困対策や教育、福祉支援など様々な事業に取り組んでいます。これらの事業は、泉佐野市だけではなく、日本社会全体の社会課題の解決に寄与するものと考えております。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



泉佐野市

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp